

(様式3)






政務活動（参加・実施）報告書

令和5年7月26日

会 派 民 主 ク ラ ブ

参 加 者 代 表 小 山 征 三

政務活動先 (目的地)	大阪市				
開催団体等	地方議会研究会				
政務活動期間	令和5年7月24日(月)～25日(火)			2日間	
政務活動項目 (名称等)	国の動きと制度の基礎的解説講座 in 大阪 (地方財政の基礎「歳出」)				
政務活動参加者	小山 征三	松尾 省勝	岩田 薫	佐々木修司	橋本 智子
					計5名
全体参加者数	16名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	別紙、セミナー参加報告書参照				
	資料名(会派保管)	地方財政の予算編成(歳出)			

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

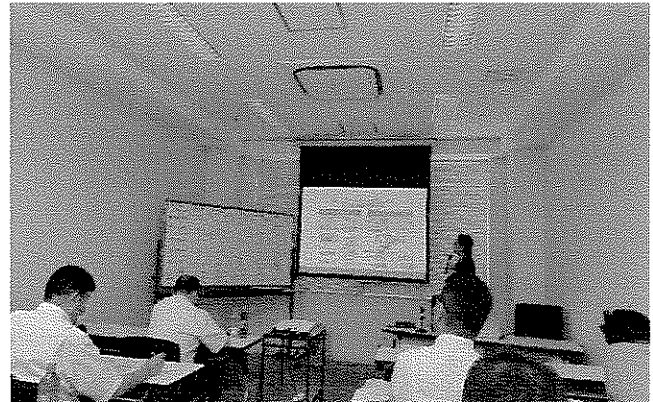
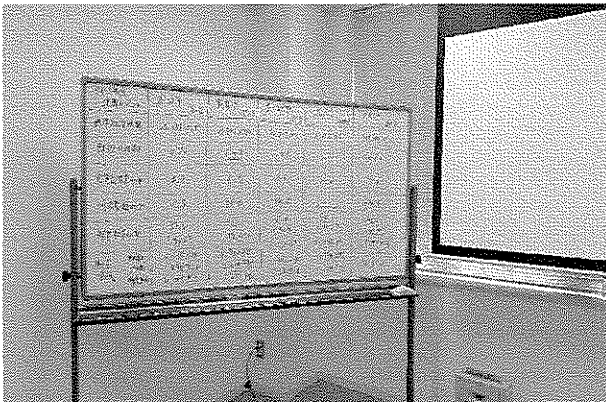
議員研修セミナー参加報告書

民主クラブ

- セミナーテーマ (地方議員研究会議員講座) 地方財政の予算編成(歳出)
- セミナー日程 2023年7月24日(月) 14:00~16:30 大阪府東大阪市丸ビル別館
- セミナー参加 11名+5名(WEB参加) 島田市・枚方市・芦屋市・京都市・苫小牧市

民主クラブでは、議員研修における活動のブラッシュアップを図ることを目的として、今回は甲南大学経済学部「足立泰美」教授による「地方財政の予算編成(歳出)」の講座を受講した。

講義が始まる前段、財政状況資料集の説明がなされ、データを基に精査とエビデンスを得る事が肝要とのアドバイスがあった。実際に「令和3年度苫小牧市決算状況」の決算カード資料(総務省HPより出典)の説明もあり、新型コロナウイルス感染対策における経済措置等の必要性や物価高騰対策に迫られている現状から、国の予算措置に基づいて中長期的な政策を打っていく必要性があるとのことであった。



それを基に「国の一般会計・特別会計の主要経費別純計」について、令和5年一般会計歳出総額(114.4兆円)と特別会計歳出総額(441.9兆円)の合計から会計間の入り繰りを控除し、政策分野ごとに整理したもので、国全体の会計であること、予算ベースでは、国の借金の利払いや返済に使用される「国債費」が81.8兆円規模であることに加え、収入の少ない地方自治体が行政サービスを維持するための財源として「地方交付税交付金等」では19.8兆円規模で構成され、地方公共団体へ措置されている説明がなされた。財務省では、毎年度、国全体の資産や負債などのストックの状況を分かりやすく開示する観点から、企業会計の考え方及び手法(発生主義・複式簿記)を参考として、貸借対照表を作成・公表しているの、国が抱える「負債」がどれだけあるのかについても、併せて確認しながら、苫小牧市の財政状況を注視する必要があると捉えている。

新型コロナウイルス感染症対策としての政府からの財政措置は莫大な規模となるが、これにより、今後の財政運営にも大きく支障を来すことのないよう、必要に応じた交付税措置が図られること、更には、公共施設の老朽化による対策として、更新費用等の必要性やインフラ長寿命化基本計画に沿った個別施設計画の方針も定められており、策定推進上の留意点、活用可能な支援策等の通知をもとに、苫小牧市がこの制度に則り、適正な管理運営がなされているのかを注視していく必要もあり、苫小牧市の財政基盤を含めた議論展開の一助となるセミナーであった。